【新規設定コース】　技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期間	定員	日数
1831	【通信活用研修】 技能五輪国際大会に臨むための最終準備のポイントー選手・エキスパート間情報交換ー	【集合研修日】令和６年７月２６日(金)	50	2 (集合1)
開催会場	東京駅近郊会場		技能・技術分野	共通
			技能・技術レベル	—
			技能・技術要素	—
研修のねらい及び到達目標	本研修では、過去に起こった事例などを紹介しながら大会に向けて見落としがちな準備事項、C-2の取り組み方などを解説します。また、各職種の状況を共有し大会本番に向けて大会本番に向けた最終確認を行います。 （到達目標） ・目標に対して適切な準備と確認ができる。			
最低限必要な知識	技能五輪国際大会に関する基礎的知識を有する方。			

	項目（予定）	講義	実技・演習
研修内容	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、集合研修前に基礎的な事前課題が提示さ集合研修日に取り組んだ結果を提出いただきます。 事前課題は、集合研修での解説等でフィードバックが行われます。 事前課題：大会に向けた準備の問題点・悩みの共有（指定フォーマット）		(6)　H
	１　職種間の情報共有 （１）各職種の強化訓練の進捗状況 （２）各職種の準備状況	2　H	
	２　大会本番シミュレーション （１）リヨン到着～C4まで （２）C-2の取り組み方	2　H	
	３　最終準備における課題と解決策 （１）準備状況の共有 （２）問題点とその解決策 ４　ディスカッション	2　H	
		6　H	9　H

リニューアルの概要及びアピールポイント	選手及びエキスパート間で情報や状況を共有することで、準備上の課題やポイントを整理することができます。また、大会に向けた様々な最終確認の場としても有効です。

研修成果が活用できる職務	職務１	職務２	職務の内容

担当教員（ユニット）	菊池　拓男（情報通信ユニット）　市川　修（メカトロニクスユニット）
使用する機器等	
受講者が用意するテキスト（予定）	